

科目番号	59	科目名	社会人類学	
英文科目名	Social Anthropology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	椿原 敦子 ( 社会 学部 准教授 )			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名		会場	瀬田	
授業期間	2024 年 4 月 12 日 ( 金 ) ~ 2024 年 7 月 26 日 ( 金 ) <毎週 金曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 ( 筆記 )			%
	レポート試験 ( 期末 )	50	【備考】 期末レポート	%
	平常点 ( 出席・授業態度 )	50	【備考】 小レポート・小テスト提出による評価	%
	その他 ( )			%
別途負担費用	なし あり( )円			
その他特記事項	<p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 授業後の復習を行い、課題を作成・提出すること</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 毎回の授業時に提出する小レポートでの感想・質問を重視し、状況に応じて適宜内容を変更します。授業に「来ている」だけでは評価点はつきません</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 授業時間内に指示</p>			
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>				
【講義概要】 人類学は、「社会・文化とは何か」を問う学問領域であると同時に「異なるとはどういうことか」についても考えてきた学問です。人類学が扱ってきた「異なる」社会や文化とは、料理や服装、お祭りなどの違い以上のことを指しています。 本講義では「私たち」と「他の人々」の間にある大きな違いと、意外によく似た所の両方に目を配りながら、私たちが無意識に持っているものの見方を一旦離れて、ものごとを複眼的に捉える力を養っていきます。 この作業を通じて、受講者が自分の属している社会・文化的環境がどのようなものかを説明できるようになることを目指します。				
【到達目標】 ・社会人類学の学問的発展の歴史を説明できるようになる ・自分の常識やものの見方を相対化し、別の視点から物事を考えることができる ・現代社会における「文化」を理解することの重要性が説明できるようになる				
【講義方法】 スライド、映像・音響資料を用いた講義				
<b>&lt;授業スケジュール&gt;</b>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 12 日	イントロダクション: 人類学とはどのような学問か		
2	4 月 19 日	食べる 1		
3	4 月 26 日	食べる 2		
4	5 月 10 日	装う 1		
5	5 月 17 日	装う 2		

6	5月24日	信仰 1
7	5月31日	信仰 2
8	6月7日	中間まとめ
9	6月14日	ジェンダー 1
10	6月21日	ジェンダー 2
11	6月28日	生老病死 1
12	6月5日	生老病死 2
13	7月12日	お金 1
14	7月19日	お金 2
15	7月26日	総まとめ

**<教科書・参考書>**

**【参考文献】**

波平恵美子編 『文化人類学』（医学書院）（ISBN:9784260013178）

松村圭一郎 他編 『文化人類学の思考法』（世界思想社）（ISBN:9784790717331）